

公共政策研究 第5号 目次

巻頭言 市民社会論のアジェンダ設定	曾根泰教	3
会長（2004～2006）基調講演 政策分析の必要性和使命についての一省察	細野助博	6
特集テーマ『市民社会の公共政策学』のねらい		
	2005年度年報委員会	12
特集 市民社会の公共政策学		
景観政策形成過程における住民組織の役割		
——竹富島と川越一番街を題材に——	伊藤修一郎	14
Local Corporatism : Neighborhood Associations and Public Policy in Japan	Robert PEKKANEN	27
シビルソサエティを測定する——数量的把握の現状と課題——	山内直人	53
市民社会・国家とガバナンス	山本 啓	68
環境都市創造への専門家集団の役割		
——KOBO-KEN in KYOTO の30年——	舟場正富	85
法制度の刷新と市民社会		
——米国ヴァーモント州における同性婚論争の帰趨——	駒村圭吾	96
日本の安全保障政策とジェンダー	御巫由美子	108
論文		
政策アイディアの伝播と制度		
——行政組織改革の日英比較を題材として——	内山 融	119
社会関係資本と地方政府の役割		
——制度と文化の相互強化的好循環の可能性——	金 基成	130
地方政府を機能させるもの？		
——ソーシャル・キャピタルからシビック・パワーへ——	坂本治也	141
研究ノート		
産業振興と道州制——基本的視点——	本田洋一	154
日本における女性政策のパラダイムの変化	李 芝英	166
Japanese Political Thought as Seen from Prime Minister's Speech :		
Koizumi's Singularity	Monika REINEM	179

書評

山口定著『市民社会論 歴史的遺産と新展開』	田口富久治	199
持田信樹著『地方分権の財政学—原点からの再構築』	伊東弘文	201
齋藤純一編著『福祉国家／社会的連帯の理由』	田村哲樹	202
曾我謙悟著『ゲームとしての官僚制』	待鳥聡史	203
学界展望（2004年1月～12月）	伊藤恭彦	204

学会賞 210 / 執筆者紹介 211 / 投稿規定・執筆要領 213

会則 215 / 英文サマリー 217 / バックナンバー案内 227

編集後記 229 / 年報委員会メンバー紹介 231

